

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
第14回産学連携人材ニーズ交流会  
開催要項

日 時： 令和6年(2024年)3月4日(月) 13:00~17:00

配信会場： アルカディア市ヶ谷(私学会館) オンライン開催 (Zoom使用)

## 1. 開催趣旨

VUCA (ブーカ) の時代と言われるように、変動が激しく不確実で、予測できない複雑な問題を抱える現代社会では、これまでの常識が通用しなくなると言われており、学生には新しい物事や変化そのものに適応する能力が求められています。AIと共存する中、物事の本質を捉える訓練を通じて、実践的に社会課題の解決に立ち向かい、未来を切り拓いていく世界に通用する人材の育成が要請されています。それには、大学教育での知の創造に加え、地域社会や企業の知見、現場感覚、実践体験などを取り入れた学びを通じて、地球的規模で未来を拓く価値の創造に挑戦していく新しい学びが必要になります。そこで、本協会では、社会と大学が連携した共創活動の「場」が不可欠と判断し、仮想空間にSDGs(持続可能な開発目標)の活動拠点を設けたモデル構想を研究しています。

今回は、SDGsを掲げてイノベーションに取り組む企業・自治体から、事業展開の状況及びそれを担う人材育成の課題等について情報提供いただきます。その上で、共創活動の実現に向けて本協会が計画する「SDGsサイバーフォーラムコモンズ構想」のパイロットプラン(試行実験)の基本方針を「情報専門教育分科会」から報告を受け、全体討議において、試行実験の意義及び具体化計画について意見交換を行い、理解の共有を図るとともに試行実験の実現可能性を探求します。

## 2. プログラム

13:00 開会挨拶 向殿 政男 氏 公益社団法人 私立大学情報教育協会会長

## 13:10 情報提供1

## (1) 無電化地域の未来を照らすプロジェクト「LIGHT UP THE FUTURE」の取組み

多田 直之 氏 パナソニックホールディングス株式会社

CSR・企業市民活動担当室企業市民活動企画課主幹

世界の9人に1人が電気のない暮らしで教育・経済・健康・安全に課題を抱える中、再生可能エネルギーによるあかりを、NGO/NPOや国際機関など、さまざまなパートナーと連携して「無電化地域」に届け、現地での支援プログラムを通して、教育や健康、収入向上の機会創出をすることで貧困のない持続可能な社会づくりに貢献するパナソニックグループの「LIGHT UP THE FUTURE」の取組について紹介いただくとともに、それを担う人材育成の課題等について情報提供いただきます。

## (2) 持続可能なまち・地域づくりを目指す「SHIMZ Beyond Zero 2050」の取組み

伊東 浩司 氏 清水建設株式会社 環境経営推進室企画部(兼)安全環境本部環境部

「その先の未来」からバックキャストの視点で、持続可能な社会を「脱炭素」「資源循環」「自然共生」の3つの視点で捉え、設計・施工建物の運用時のCO2排出ゼロなど、サプライチェーンを通して脱炭素社会に貢献するとともに、技術革新や再エネ電力の創出などにより、脱炭素社会を牽引する清水建設株式会社の取組について紹介いただくとともに、それを担う人材育成の課題等について情報提供いただきます。

## (3) リサイクル率83%で14年連続日本一の大崎町が目指す「サーキュラーヴィレッジ」の取組み

齊藤 智彦 氏 一般社団法人 大崎町SDGs推進協議会専務理事(業務執行責任者)

すべての資源がリサイクル、リユースされて循環する「サーキュラーヴィレッジ」の実現に向け、地域住民にリサイクルに対する考え、取組み、分別方法を広めることで、リサイクル率83%、14年連続リサイクル率日本一を記録している鹿児島県大崎町の取組について紹介いただくとともに、それを担う人材育成の課題等について情報提供いただきます。

14:40 休憩

14:50

## (4) 北九州市の環境学習 ～ESDの取組み～

ESD: Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)

荒木 伸一 氏 北九州市環境局 総務政策部環境学習課 環境学習係主査

北九州市では、次世代を担う子どもたちが、就学時から環境について興味・関心をもち、環境に対する正しい知識を身に付けるために様々な取組みを行っています。平成18年には、市民、企業、行政などからなる「北九州ESD協議会」が発足し、各分野の団体・個人が様々なESD活動を推進しています。「持続可能な社会づくり」に参画できる人材を育成するための北九州市の取組みについて紹介いただくとともに、今後の課題などについて情報提供いただきます。

**15:20 情報提供2**

「SDGsサイバーフォーラムコモンズ構想」のパイロットプラン基本方針について

大原 茂之 氏（公益社団法人 私立大学情報教育協会情報専門教育分科会主査）

ワクワクして未来を拓く共創価値の創出に学生が積極的に参加体験できるようにするため、学生チームによるSDGsの研究を社会とマッチングする活動拠点を仮想空間に設け、教員や企業・自治体等の支援を受ける中で、世界に通用する創発的な学びを目指す「SDGsサイバーフォーラムコモンズ構想」パイロットプランの基本方針を「情報専門教育分科会」から報告します。

**15:40 休憩****15:50 全体討議**

「SDGsサイバーフォーラムコモンズ構想」の意義、試行実験の実現可能性を考える

「SDGsサイバーフォーラムコモンズ構想」のパイロットプラン基本方針について、共創活動事業の意義、大学教育での位置づけと産学連携の意義、期待される効果、学生チームと企業・自治体等とのマッチングの仕方、マッチング後の共創活動の仕方、プラットフォーム環境の整備、メタバース利用ルールの徹底などについて確認し、試行に向けた実現可能性の観点から意見交換を行います。

**16:55 閉会挨拶****17:00 閉会****3. 参加対象者****(1) 大学関係者**

私立大学の教員、職員

**(2) 企業等関係者**

本協会の事業に賛同する企業等の関係者

**4. 運営方法について**

(1) オンラインによるテレビ会議（Zoom使用）で行います。

※ Zoomにネット接続し、Webカメラ、マイク等を用いて参加いただきます。

(2) 「情報提供、質疑応答」の撮影・録画は、著作権・肖像権の観点から厳禁とします。

**5. 参加費**

無料

別紙申込書にて、2024年3月1日（金）までにお申込み下さい。

申込書は（<http://www.juce.jp/LINK/sangakurenkei2023/>）に掲載します。

ダウンロードしてメールにて([info@juce.jp](mailto:info@juce.jp)) お送り下さい。

**6. 問い合わせ先**

公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-14 九段北TLビル4F

TEL:03-3261-2798 FAX03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp